

2023年3月5日(復活前第5主日)		No. 22532(49)
聖餐式執行		
年主題	「恵みを数えつつ歩む教会」	
1. 礼 拝 順 序		
司 式 役 員		
奏 楽 オルガニスト		
前 奏	招 詞	いかに幸いなことでしょう あなたによって勇気をだし心に広い道を見ている人は。嘆きの谷を通るときも、そこを泉とするでしょう。雨も降り、祝福で覆ってくれるでしょう。彼らはいよいよ力を増して進みついに、シオンで神にまみえるでしょう。万軍の神、主よ、わたしの祈りを聞いてください。ヤコブの神よ、耳を傾けてください。神よ、わたしたちが盾とする人をご覧になりあなたが油注がれた人を顧みてください。(詩編 84 篇 6-10)
○ 讃 美 歌	主の祈り	二編 191 番(1、2 節) 次ページ
○ 交 読 文		裏面下段に記載されています
○ 信 仰 告 白		17 詩 65 篇 (別冊交読文 P19)
		使徒信条 次ページ
聖 書		出エジプト 20 章 12 節～17 節 (旧 P126)
		マタイによる福音書 10 章 34 節-39 節 (新 P19)
祈 禱		米倉美佐男牧師
祈 説		「主にあるふさわしさ」
祈 禱		米倉美佐男牧師
○ 讃 美 歌		一編 285 番(1、4 節) 次ページ
聖 餐		配餐:役員
讃 美 歌		21-504 番(1、3 節)
奉 献		お当番
讃 美 歌		21-65-2 番
○ 頌 栄		21-29 番
○ 祝 禱		米倉美佐男牧師
報 告		
祈 り の 時		後任牧師を迎えるよき準備ができますように、伝道献身者が起こされるように。
後 奏		

2. 集 会 案 内	
○教会学校	9:30～ CS 教師
○礼拝前祈禱会	10:15 於:礼拝堂前方
○礼拝後お掃除	礼拝堂・教育館
○3 月定例役員会	15:00～於:教育館
※聖書研究・祈禱会は休会中です。	
それぞれの場にあってお祈りください。	
聖 書	(聖書日課・木曜日) サムエル 7:1-13
今月の祈り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後任牧師を迎えるよき準備ができますように。</li> <li>・伝道献身者のために。神学校のために。宣教師のために。</li> <li>・</li> <li>・教区祈りのカレンダーより祈る教会:</li> <li>・成瀬台教会</li> </ul>
+	牧師 迫川道子 創立 1978 年 現住陪餐 70 礼拝出席 50 祈禱会/CS 出席 12 予算 1248 万円
祈りの課題 新型コロナウイルスの一日も早い終息を。戦火の中にある人々を助けてください。 西東京教区にある教会の伝道の上に主の祝福をお祈りしています。	

○次週主日礼拝3月12日(日) 10時半	
復活前第4主日	
「救いの箱舟」 創世記 6 章 9 節～22 節           矢田洋子牧師	
司 式:役員 奏楽 オルガニスト 礼拝当番:お当番 招 詞・詩編 100 編 1-3 節 交読文・10 詩 32 篇 讃 美 歌・21-51 番 (1,3) 21-531 番(1,3)	
○礼拝前祈禱会 10:15 礼拝堂前方 ○礼拝後掃除 礼拝堂・教育館 ○臨時総会資料送付	

### 【主の祈り】

天にまします我らの父よ。  
願わくは御名（みな）をあがめさせたまえ。  
御国（みくに）を来たせたまえ。  
みこころの天になるごとく、  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用（にちよう）の糧（かて）を  
今日も与えたまえ。  
我らに罪を犯す者を我らが赦（ゆる）すごとく、  
我らの罪をも赦したまえ。  
我らを試（こころ）みにあわせず、  
悪より救いだしたまえ。  
国と力と栄えとは、  
限りなく汝（なんじ）のものなればなり。

### 【二編讃美歌 191】

1. 主のまことはくすしきかな、  
まよいなやむこの身を、  
とこしなえにかわらざる  
父のもとにみちびく  
（おりかえし）  
大いなるは主のまことぞ、  
朝に夕にたえせず、  
みめぐみもてささえたもう。  
たたえまつらん、わが主を。
2. はるもあさもなつふゆも  
つきもほしもすべては、  
主のまこととあわれみと  
つきぬ愛をあらわす。

### 【使徒信条】

我は天地の造り主ぬし、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊（せいれい）によりてやどり、処女（おとめ）マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府（よみ）にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇のぼり、全能の父なる神の右に座したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審（さば）きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し（ゆるし）、身体（からだ）のよみがへり、永遠（とこしえ）の生命（いのち）を信ず。 アーメン。

### 【讃美歌 285】

1. 主よ、み手もて ひかせたまえ、  
ただわが主の 道をあゆまん。  
いかに暗く けわしくとも、  
みむねならば われいとわじ。
4. この世を主に ささげまつり、  
かみのくにと なすためには、  
せめもはじも 死もほろびも、  
何（なに）かはあらん、主にまかせて。